

### c 石綿（アスベスト）

当社の建物及び設備の一部には、飛散性があるとされる「吹付け石綿」と、通常状態において飛散性がない「石綿含有製品」を使用しています。

吹付け石綿は、関係法令にのっとり適切に対策工事を実施し、すべての使用箇所ですべての飛散防止対策を完了しています。

2008年6月のJIS改正で新たに確認が必要となった石綿については、2009年度末に調査を完了し、当社での使用はないことを確認しています。

石綿含有製品については、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品への取替えを進めています。

また、建物・設備を解体する際には、法令等に基づき飛散防止措置を徹底の上、適切に解体・搬出・処理を行うことを行っています。

詳細は九州電力ホームページ  
原子力・環境・エネルギー＞環境への取組み＞具体的な取組み＞石綿に関する使用状況等について

#### 【建物及び設備における主な石綿使用状況（2010年3月末現在）】

対象	使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）		
吹付け石綿	設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用。	すべての使用箇所について飛散防止対策済。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認。</li> <li>2008年6月のJIS改正で新たに確認が必要となった石綿の使用はないことを確認済。</li> </ul>		
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>成形品であり、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。</li> </ul>		
	防音材	変圧器防音材（変電設備・水力発電設備）		77台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備・配電設備）		こう長：約180km	
	保温材	発電設備（火力設備・原子力設備）		石綿含有製品残数：約3万m <sup>3</sup>	
	シール材 ジョイントシート	発電設備（火力設備・原子力設備）		石綿含有製品残数： （火力）約36万個 （原子力）約16万個	
	緩衝材	懸垂碍子（送電設備）		懸垂碍子：約147万個 （碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>成形品であり、加えて碍子内部に封入されており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。</li> </ul>
	増粘剤	架空線用の電線（送電設備）		電線防食剤：こう長約98km	<ul style="list-style-type: none"> <li>油性材料（防食グリース）と一体化しており、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替え中。</li> </ul>

(注) 火力設備には内燃力発電設備を含む。

## 3 周辺環境との調和

設備形成にあたって、周辺の自然環境や都市景観に配慮するとともに、緑地の形成など環境施策の展開に取り組んでいます。



【無電柱化前】  
鹿児島県内の地中化路線（2009年度整備）



【無電柱化後】

### ● 無電柱化の推進

無電柱化については、都市景観への配慮や安全で快適な通行空間の確保等を踏まえ、国の「無電柱化推進計画」等に基づき、1986年度から道路管理者及び地元関係者と密接に協力し、計画的に進めています。

これまでの取組みにより、当社管内では、市街地の幹線道路及び主要な非幹線道路を中心に、約697km（2010年3月末現在）を無電柱化しています。